

神戸大学における 教育・学修成果の質保証



近田 政博（全学評価・FD委員会 委員長）

2021年1月25日 中教審大学分科会 第7回質保証システム部会

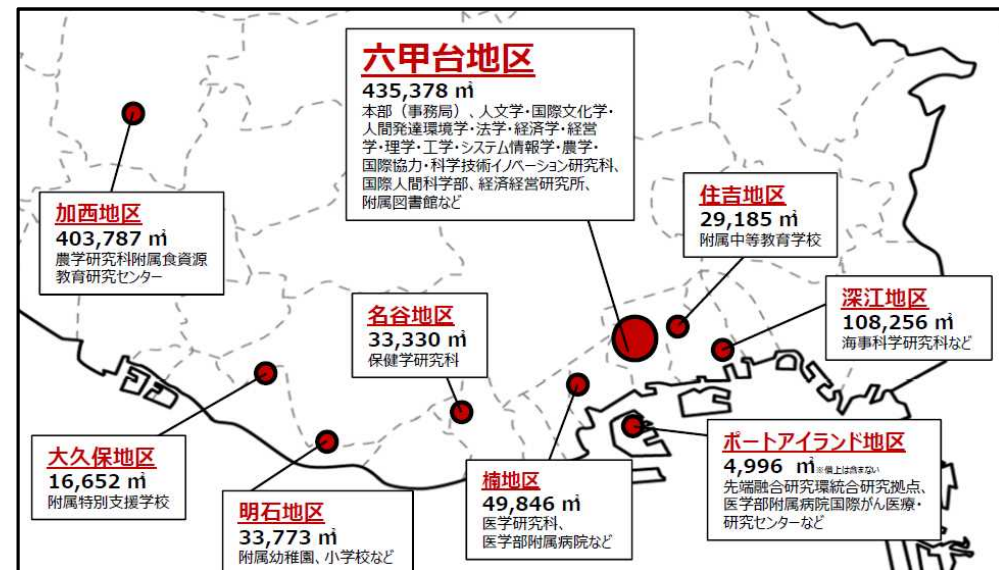
本報告の要旨

- **部局自治**の伝統が強く、委員会方式で全学的な合意形成を図っている。
- 奇をてらうことはせず、**オーソドックスな施策**をコツコツと積み重ねてきた。
- **肥大化しつつある評価コスト**が教育現場を圧迫しないように苦心している。

神戸大学の概要 (2020年5月現在)

- 構成：10学部, 15研究科
- 学生数：16,080人
うち学部生11,521人、大学院生 4,559人
- 教職員数：3,715人
うち教員1,654人、職員2,061人

学部	大学院
文学部	人文学研究科
国際人間科学部	国際文化学研究科
法学部	人間発達環境学研究科
経済学部	法学研究科
経営学部	経済学研究科
理学部	経営学研究科
医学部	理学研究科
工学部	医学研究科
農学部	保健学研究科
海事科学部	工学研究科
	システム情報学研究科
	農学研究科
	海事科学研究科
	国際協力研究科
	科学技術
	イノベーション研究科



神戸大学の組織文化

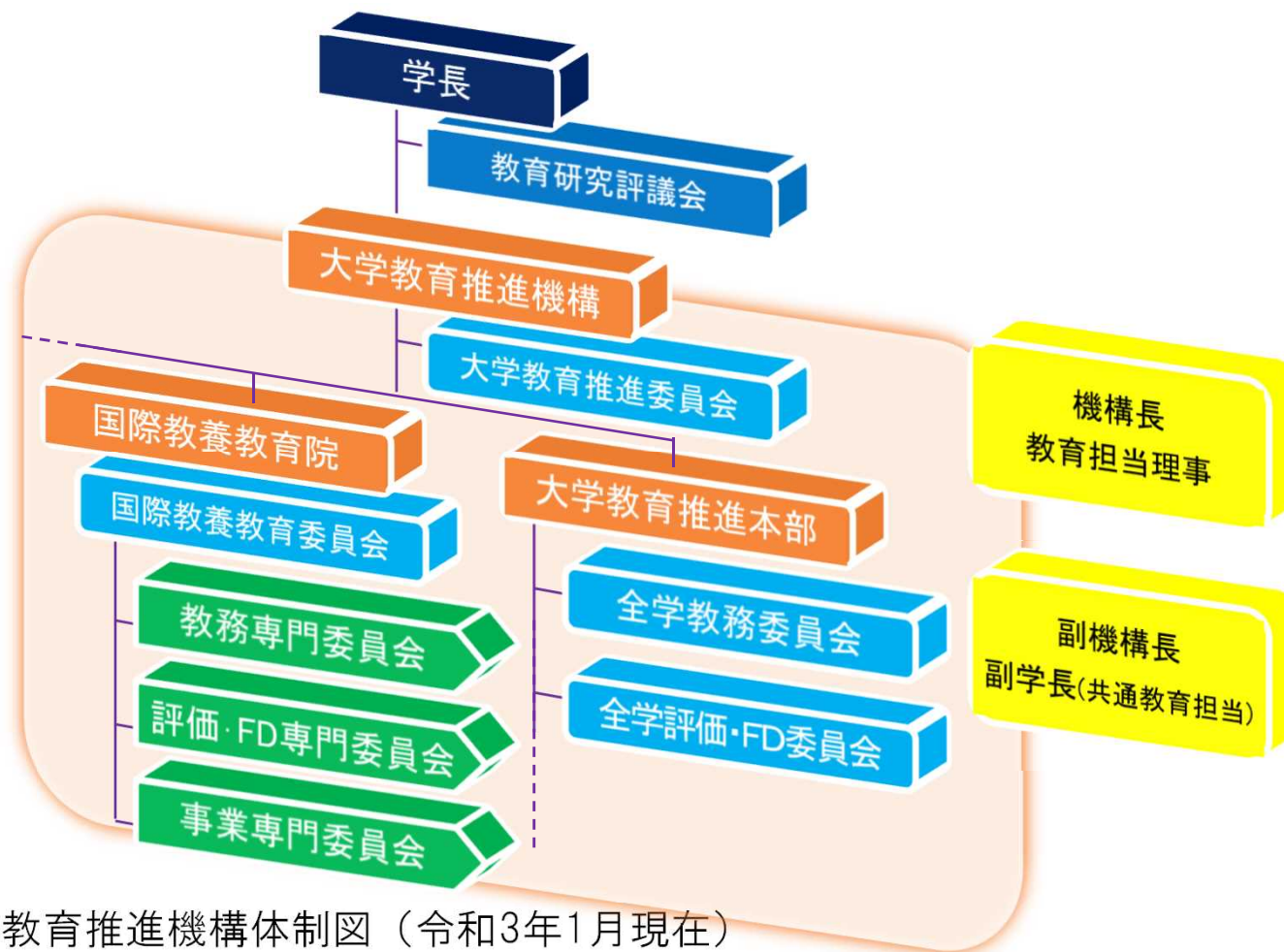
- 経済学部と経営学部の建物が「本館」と称される。
- キャンパスが分散しているため、教学面は部局自治の伝統が根強かった。
- 「四大学術系列」という学内用語
⇒人文科学系(文、国際人間)、社会科学系(経済、経営、法)、自然科学系(理、工、農、海事)及び医学系(医・医、医・保健)を指す
- 近年では、部局予算が減少するに伴い、全学的な教学マネジメントの重要性が高まっている。
⇒教育担当理事、共通教育担当副学長



1. 質保証のための組織体制

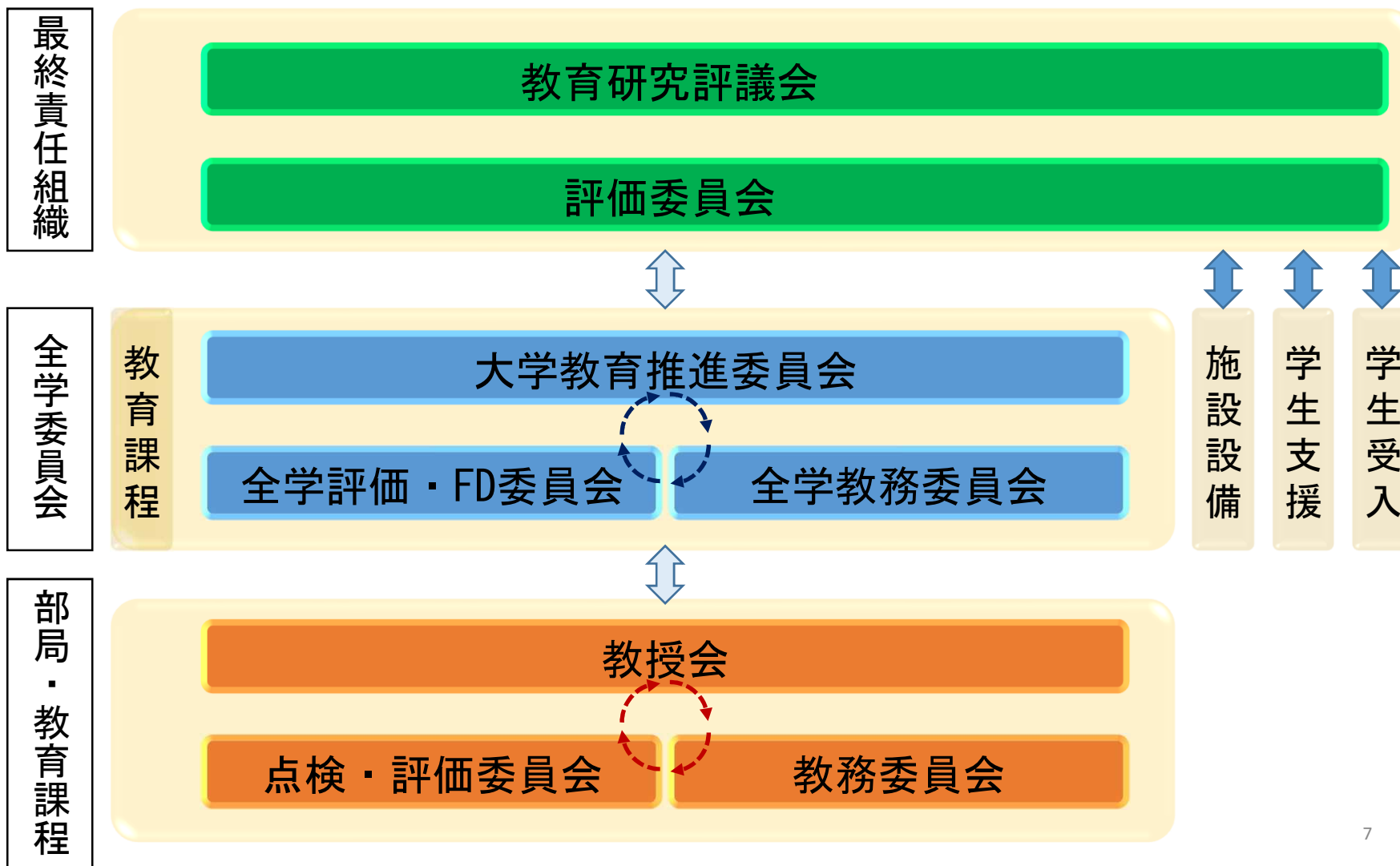
- **大学教育推進委員会**で全学部・研究科の教学を束ねる
- 教学面の質保証体制を**三層化**
- **教育部会制度**で全学共通授業科目を束ねる

大学教育推進委員会を通じて 全学の教育・学修活動を把握



大学教育推進機構体制図（令和3年1月現在）
（一部省略）

教学面の質保証体制を三層化



教育部会制度で 全学共通授業科目を束ねる

- 毎年度、各部会で自己点検・評価を実施
- ①授業のピアレビュー、②外部評価をローテーションで実施

●教育部会

教養教育部門（部門長：院長）		外国語教育部門（部門長：副院長）	
(1) 情報科学	(11) 化学	(1) 外国語第Ⅰ	
(2) 健康・スポーツ科学	(12) 生物学	(2) 外国語第Ⅱ	
(3) 人間形成と思想	(13) 地球惑星科学		
(4) 文学と芸術	(14) 図形科学		
(5) 歴史と文化	(15) 応用科学技術		
(6) 人間と社会	(16) 医学		
(7) 法と政治	(17) 農学		
(8) 経済と社会	(18) ESD		
(9) 数学	(19) データサイエンス		
(10) 物理学	(20) 学際		

2. 質保証を実現するための方策

- 「神戸スタンダード」の制定
- 「2学期クォーター制」の導入と軌道修正
- 「学修の記録」の導入(学士課程)
- 成績評価方針の一部改正

「神戸スタンダード」の制定(2016年度～)



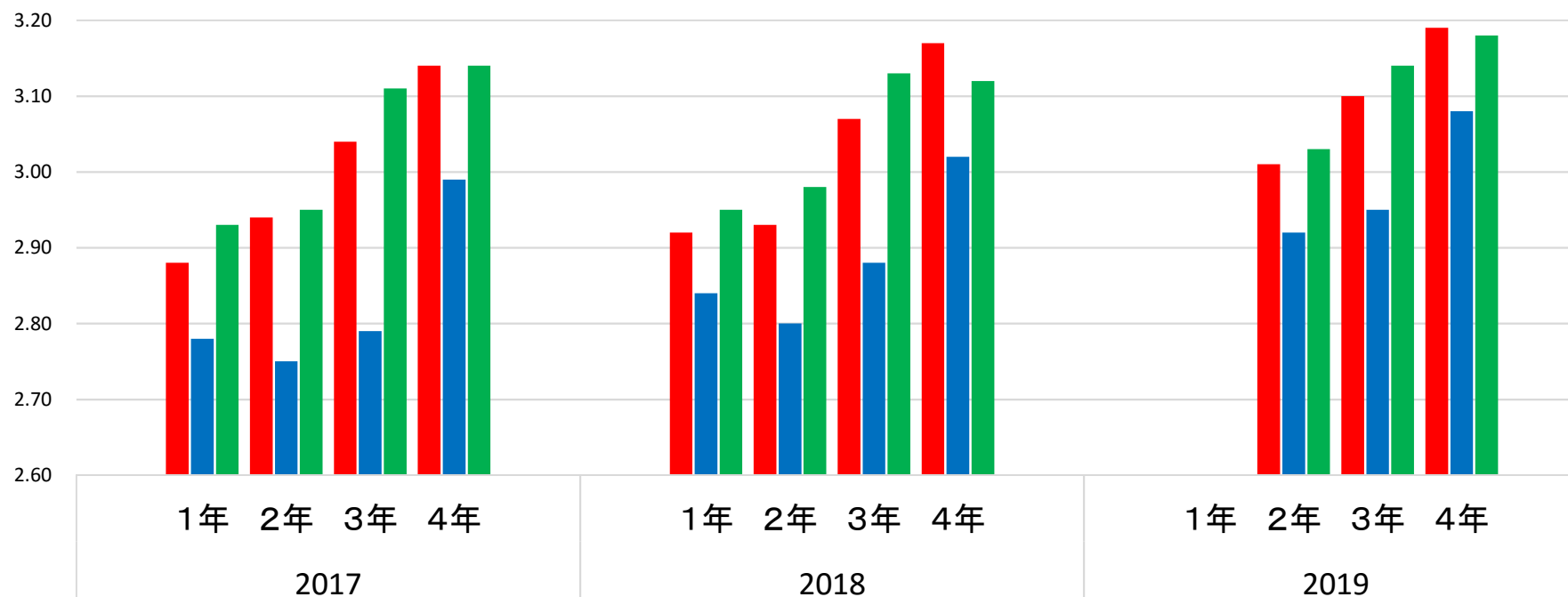
- 「神戸スタンダード」とは？
 - 所属学部にかかわらず、神戸大学の学生(学士課程)が卒業時までには身につけるべき能力
- **三種**の教養科目に再編
 - 複眼的に思考する能力
 - →基礎教養科目
 - 多様性と地球的課題を理解する能力
 - →総合教養科目
 - 協働して実践する能力
 - →高度教養科目

「神戸スタンダード」の到達度は上の学年ほど高い

複眼的に思考する能力

多様性と地球的課題を理解する能力

協働して実践する能力



※各回答をそれぞれ次の点数に置き換えた平均値で集計。

十分身についた：4点 ある程度身についた：3点 あまり身につかなかった：2点 ほとんど身につかなかった：1点

※2019年度の入学生より、評価項目を学年進行で改訂した（「神戸スタンダード」のルーブリックに基づいて設問をより細かく設定）

「2学期クォーター制」の導入(2016年度～)

- 導入から丸5年が経過
 - 短期留学の増加、週複数開講による集中的な学修の実現をめざす
 - クォーター科目は8週で1単位
 - 学士課程の大半はクォーター化
 - 海外派遣数は増加傾向、学修時間も増加傾向
 - 学事暦が過密化、不測の事態への対応に苦心
- 2020年度からの軌道修正
 - 「セメスター的運用」を可能に
 - 成績入力を学期末にまとめて可能に

「学修の記録」の導入(学士課程)

• 正課、正課外の学修活動時間を自己申告

- 週あたりの学修時間を半年ごとに申告
- 原則として回答必須
- 成績確認のログイン時に必要

• 「神戸スタンダード」の達成度を全学生が自己評価

- 毎年度末に確認

うりぼーネット で 後期「学修の記録」を実施します！

全学部生対象

記録期間：〈1~3(5)年次〉2021/3/1(月)~4/20(火)
 〈4(6)年次〉2021/1/8(金)~

集計結果公表：2021/6/1(火)~

授業の予習・復習、課題やレポートの作成、ゼミ・卒業論文・卒業研究等

自分がどれだけ、何に力を入れて学修したかを振り返り、うりぼーネットに記録しよう！

〈記録内容〉

●授業時間外に行った学修(①②)についての土日を含めた1週間の学修時間の合計(※クォーター単位で記録)	●学修成果
①履修している授業に関連した学修や、ゼミ・卒業論文・卒業研究等に関する学修(授業の予習・復習、課題やレポートの作成等)	②その他、自主的に行った学修(資格試験学習、語学学習、大学院試験対策、就職試験対策、フィールドワーク、セミナー、クラブ・サークル活動、教養のための読書等)
	〈1~3(5)年次〉神戸スタンダードの達成度等 〈4(6)年次〉卒業時アンケート(在学中の学修成果等)

〈留意点〉

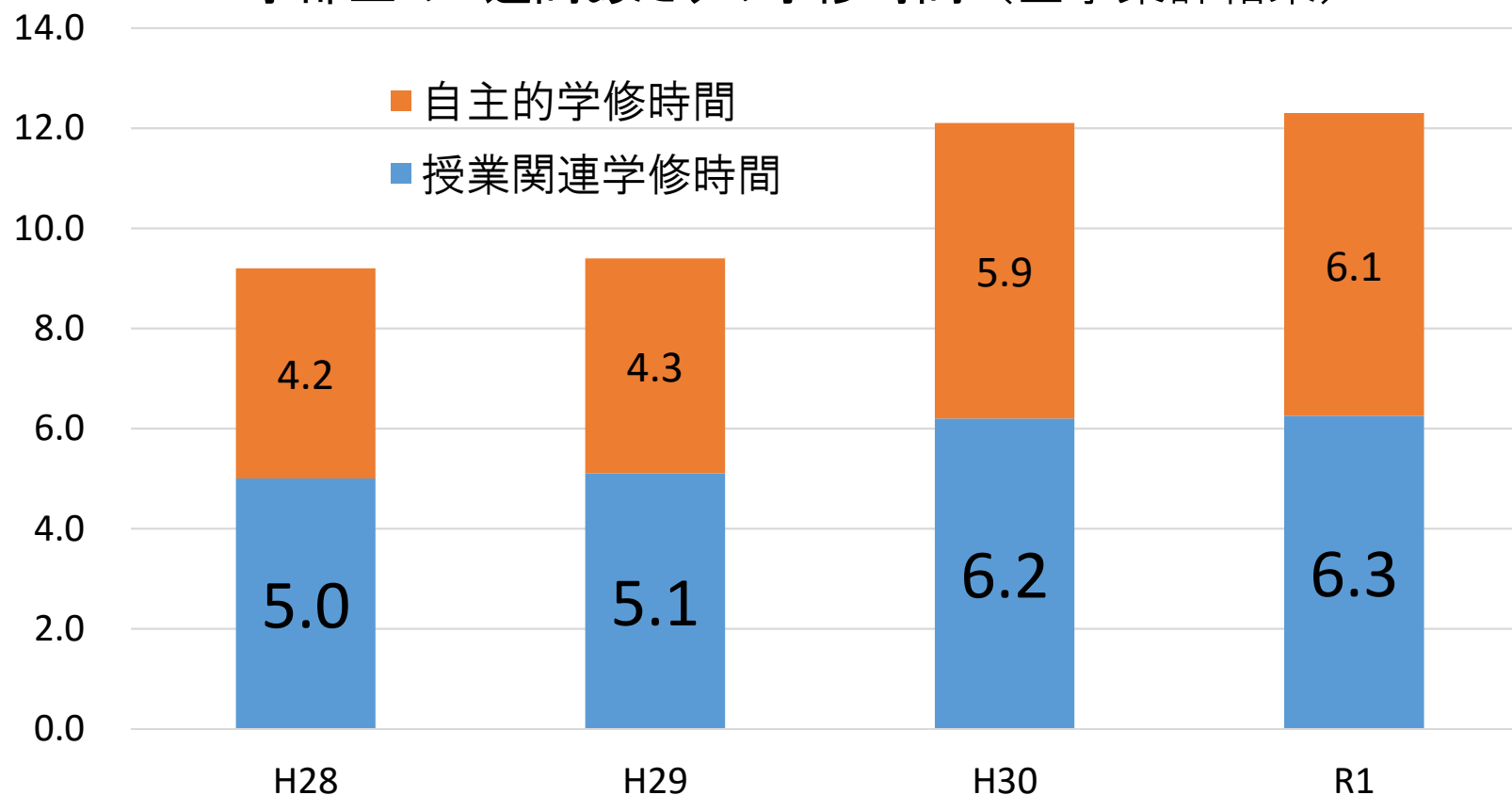
- 記録期間中にうりぼーネットにログインして記録画面へ進んでください。記録を行わないと、「うりぼーネット(成績確認、履修登録等)」を使用できません!




「学修時間」は増加傾向にある

ただし、絶対値はいまだ少ない！

学部生の1週間あたりの学修時間（全学集計結果）



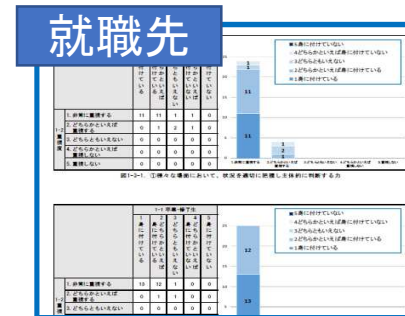
成績評価方針(2019年3月一部改正)

- 開講授業科目の成績評価に関する情報を共有し、担当教員による成績評価の差を小さくするための工夫を行う。
- 同一の授業科目を複数開講し、複数の教員が担当する場合は、担当教員間で成績評価基準等の調整を行う。
- 「秀」は履修者の概ね 10%程度を上限とすることを全学的な目安とする。
- 各部局は、「秀」と「優」の合計比率を履修者の概ね 40%程度を上限とすることを目安とする。

3. 学生や社会との対話による質保証

● 各種調査

- 卒業・修了生アンケート
- 就職先機関インタビュー調査



● 学生との教育懇談会

- 学部生、大学院生
- 学長、教育担当理事、共通教育担当副学長と学生との直接対話

教育懇談会



武田学長



岡田理事(教育・入試担当)



懇談会の様子(大学院生)

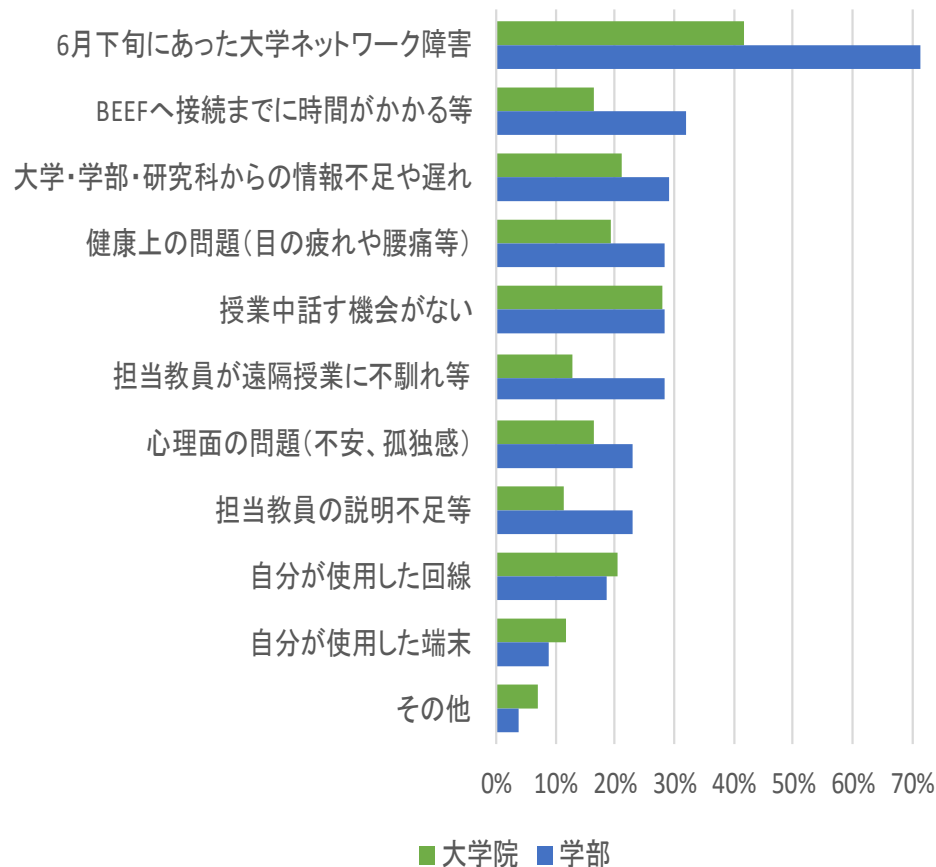


懇談会の様子(学部生)

コロナ禍の学修状況

対面授業は少人数、実験、実習などに限定

遠隔授業に関する問題(多重回答)



●教育懇談会での学生意見

・【学部生】

- ・友人をつくるのに苦労した。
- ・履修登録の際に、相談できる相手がなくて苦労した。
- ・PCのトラブルに苦労した。

・【大学院生】

- ・6月までは研究室で実験できなかった。
- ・研究調査の予定を変更した。
- ・留学予定を変更した。
- ・ゼミや学会での発表時、参加者の反応がわからずに苦労した。

4. 委員長としての所感

• 合意形成、信頼感、納得感を大事にする

- YOUでなく、WEで語る！（同僚として語る）

• すぐに成果を期待しない

- 「教育・学修の遅効性」を理解し、辛抱よく待つ

• 評価コストの肥大化に注意する

- 日常的な教育活動を圧迫しないように（コロナ対応が先！）
- PDCAサイクルの副作用を自覚する（Doが大事！）